

SUPPORTER 公式サポーター / 音声ガイドナビゲーター

松下洸平さん Kouhei Matsushita
(俳優・シンガーソングライター)

松下洸平さんが
展覧会を楽しくご案内します。

松下洸平さんからのコメント

東京展サポーターに任命いただき、とても嬉しく思います。やんちゃで寂しがり屋、冒険が大好きだけど、帰るのはお母さんの待つあったかいお家。僕はそんなピーターが大好きでした。

家には「ピーターラビットのおはなし」があったし、子どもの頃に飼っていたウサギには、たぶんピーターも大好きだと思っていんじんをあげていた。「動物たちが言葉を喋る」なんて夢のような話と思いつつも、二人きりになると飼っていたウサギに一生懸命話しかけていた。

多くの人々に愛されているピーターラビットは、僕にとっても、世界一薄いブルーのジャケットが似合う友だちです。音声ガイドのナビゲーターは初めてで緊張していますが、ピーターラビットの世界をより楽しんでいただくために頑張ります。



松下洸平 1987年3月6日生まれ。東京都出身。2008年CDデビュー、NHK連続テレビ小説『スカーレット』で一躍注目を集める。ドラマ、映画、舞台、音楽など、幅広く活躍中。

GOODS グッズ

展覧会オリジナルグッズも
多数ご用意しています！



リバティプリントのぬいぐるみ
3,520円
*画像は既存色となり、実際の商品とは異なります。

マスコット
1,980円

巾着袋
各880円

*商品の価格は全て税込みです。
*商品のデザインや価格は予告なく変更する場合がございます。
*グッズは数量限定のため、品切れとなる場合がございます。

IMAGE SONG 公式イメージソング

『ピーターラビットとわたし』大貫妙子

大貫妙子さんの名曲が展覧会を彩ります。
*収録アルバム「Cliché」MHCL-10151



TICKETS チケット情報

新型コロナウイルス感染症対策のため、会期中の土日・祝休日および5月2日[月]は日時指定券を販売いたしますので、事前のご購入をお勧めいたします。

*平日の日時指定はございません。

2月26日[土] 正午 発売開始

*状況により、チケットの販売方法、会期等が変更となる場合がございます。チケット販売の詳細をご確認される際、またご来場の際には、チラシ表面記載の展覧会公式サイトをご覧ください。

チケット購入場所
公式チケットサイト・フジテレビダイレクト・チケットぴあ・ローソンチケット

*上記でのご購入が難しい方は、ご来場当日に限り、美術館窓口でご購入いただけます。ただし、ご来場時に予定枚数が終了している場合がございます。

日時指定券 販売スケジュール

第1期 3月26日[土]～5月8日[日] 指定券
2月26日[土] 正午 発売開始

第2期 5月10日[火]～6月19日[日] 指定券
4月16日[土] 正午 発売開始

*会場内混雑の際には、入場をお待ちいただく場合がございます。
*週末、祝休日、会期末は混雑が予想されますので、平日、会期前半のご来場をお勧めいたします。

世田谷美術館 SETAGAYA ART MUSEUM

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2 TEL: 03-3415-6011 (代表)
<https://www.setagayaartmuseum.or.jp>

展覧会のご案内: 050-5541-8600 (ハローダイヤル) *全日9:00～20:00

*新型コロナウイルス感染症の感染予防および拡散抑制のため、ご入館に際し、マスクの着用と検温等のご協力をお願いしております。
*展覧会の会期および内容が、急遽変更や中止になる場合がございます。

〈交通案内〉

- 東急田園都市線「用賀」駅下車、北口から徒歩17分、もしくは美術館行バスA「美術館」下車徒歩3分
- 小田急線「成城学園前」駅下車、南口から渋谷駅行バスB「砧町」下車徒歩10分
- 小田急線「千歳船橋」駅から、田園調布駅行バスC「美術館入口」下車徒歩5分
- 来館者専用駐車場(60台、無料): 東名高速道路高架下、厚木方面側道400m先。美術館まで徒歩5分



同時開催展

ミュージアム コレクションⅢ
「ART/MUSIC わたしたちの創作は音楽とともにある」
2021年12月4日[土]～2022年4月10日[日]

ミュージアム コレクションⅠ
「美術家たちの沿線物語 大井町線・目黒線・東横線篇」(予定)
2022年4月23日[土]～7月24日[日]

次回企画展

「こぐまちゃんとしろくまちゃん
絵本作家・わかやまけんの世界」
2022年7月2日[土]～9月4日[日]



出版120周年

ピーターラビット展

2022.3.26 SAT-6.19 SUN 世田谷美術館

開館時間=10:00～18:00 (入場は17:30まで) 休館日=毎週月曜日(ただし、5月2日[月]は開館)

観覧料=一般1,600円 / 65歳以上1,300円 / 大高生800円 / 中小生500円

*障がい者の方は500円。ただし小中高生の障がい者の方は無料。介助者(当該障がい者1名につき1名)は無料。*未就学児無料
*高校生、大学生、専門学校生、65歳以上の方、各種お手帳をお持ちの方は、いずれも証明できるものをご提示下さい。*各種割引については世田谷美術館窓口にて取り扱います。

会期中の土日・祝休日および5月2日[月]は、日時指定制。詳しくは「チケット情報」をご覧ください。

主催=世田谷美術館(公益財団法人せたがや文化財団)、朝日新聞社、フジテレビジョン、東映
後援=世田谷区、世田谷区教育委員会 協力=日本航空、ソニー・クリエイティブプロダクツ 監修=河野芳英(大東文化大学教授)

In association with Frederick Warne & Co:



PETER RABBIT™ & BEATRIX POTTER™ © Frederick Warne & Co., 2022.
Frederick Warne & Co. is the owner of all rights, copyrights and trademarks in the Beatrix Potter character names and illustrations.
Licensed by Frederick Warne & Co. Ltd. All Rights Reserved.

展覧会公式サイト

<https://peter120.exhibit.jp>



今なお世界中で愛され続けるいたずら好きなウサギ **ピーターラビット™**。1902年にフレデリック・ウォーン社*から刊行されたシリーズ最初の絵本『ピーターラビットのおはなし』は、2022年に **出版120周年** を迎えます。本展は、そのメモリアルイヤーをお祝いして、ピーターラビットの誕生日前夜から今日に至るまでの歩みを、物語の原点となった **絵手紙** や **貴重な彩色原画** など約170点で振り返ります。盛大な **バースディパーティ** にぜひお越しください。

*フレデリック・ウォーン社はThe World of Peter Rabbit™のブランドオーナーです。

みどころ

日本初公開!!

ピーター誕生までの物語

原点となる絵手紙とウサギのスケッチ

『ピーターラビットのおはなし』は、1893年、ビアトリクス・ポターが病床の元家庭教師の息子、ノエル・ムーアを元気づけるために送った絵手紙が原点となっています。貴重な絵手紙の直筆オリジナルを日本で初公開します。



《ノエル・ムーア宛ての絵手紙》
1893年 ビアソンPLC
© Victoria & Albert Museum, London, 2015



《横たわるウサギの習作》
1899年 ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館
(リンダー・コレクションからの寄贈)
Courtesy of The Victoria and Albert Museum
and Frederick Warne & Co.



《「ピーターラビットのおはなし」挿絵原画》1902年 ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社 © Frederick Warne & Co. Ltd, 2017

みどころ

日本初!!

シリーズ最初の絵本『ピーターラビットのおはなし』彩色画全点*1を一堂に展示!

出版120周年の今年まで、日本語版の絵本では掲載されなかった挿絵*2の原画を含め、『ピーターラビットのおはなし』の彩色画全点を大公開! 作者が当初思い描いた絵本のすがたを日本で初めて展示で再現します。



みどころ

絵本を抜け出したピーターラビット!

作者ビアトリクス・ポター™監修、100年以上前に作られた貴重な関連アイテムも大公開!

ビアトリクスは、絵本の出版だけではなく生涯に渡って様々な関連商品の製作も意欲的に手がけました。本展では作者自らが監修したピーターラビットのぬいぐるみなど、貴重なアイテムの数々もご覧いただけます。



絵本のキャラクターを商品化するための特許を取得したのは、ビアトリクスが最初の人物だと言われています。

《ピーターラビットのぬいぐるみ》シュタイフ社
1905年 ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
© Frederick Warne & Co. Ltd, 2015



《ピーターラビットのぬいぐるみ特許証》
1903年 ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
© Frederick Warne & Co. Ltd, 2020



《ピーターラビットのルームシューズ》
ジョイ・フットウェア社 1919年
ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
© Frederick Warne & Co. Ltd, 2021



《ピーターラビットの追いかけっこゲーム》
フレデリック・ウォーン社 1919年頃
ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
© Frederick Warne & Co. Ltd, 2021

1892年 ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館
Courtesy of The Victoria and Albert Museum



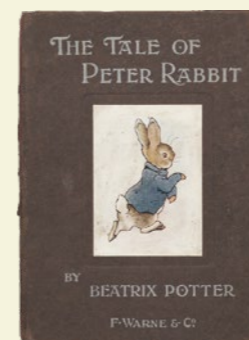
作者 ビアトリクス・ポター™ Beatrix Potter™

ロンドンの裕福な家庭に生まれたビアトリクス・ポター(1866-1943)は、幼い頃から絵を描く才能を発揮し、特に小動物を好んで描きました。挿絵画家として仕事を始めた頃に、元家庭教師の息子の療養を見舞うために送った、いたずら好きなウサギのピーターについての絵手紙がきっかけとなり、「ピーターラビット」シリーズが刊行され、世界中でベストセラーとなりました。彼女の情熱はイギリスの湖水地方の景観を守ることに向けられ、農場経営を通して生涯に渡りその自然を守り続けました。

*1 ビアトリクスによる原画が所在不明となっており、フレデリック・ウォーン社が2010年に再制作したものを含まれます。
*2 ビアトリクスが「ピーターラビットのおはなし」のために水彩で描いた挿絵は、その一部が絵本に掲載されていませんでした。出版から100年を経た2002年以降、英語版の絵本では挿絵全点が収録されるようになり、日本でも、挿絵全点を掲載した絵本「ピーターラビットのおはなし」を含む全23巻の新訳版が2022年3月より順次出版されます(早川書房刊)。



《「ピーターラビットのおはなし」挿絵原画》
1902年 ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館
(リンダー・コレクションからの寄贈)
Courtesy of The Victoria and Albert Museum and
Frederick Warne & Co.



《「ピーターラビットのおはなし」初版(濃茶色厚紙装丁版)》
フレデリック・ウォーン社 1902年
ウォーン・アーカイブ/フレデリック・ウォーン社
© Frederick Warne & Co. Ltd, 2021

みどころ

特大バースディケーキでお祝いしよう!

ハッピーバースデー! ピーターラビット™

本展のためにイギリス湖水地方のザ・ワールド・オブ・ビアトリクス・ポター・アトラクションが特別に制作した、高さ180cmの特大バースディケーキで『ピーターラビットのおはなし』の出版120周年をお祝します。



バースディケーキデザイン
Designed by Caroline Dalton
*画像はイメージです。
実際の展示物とは異なる可能性があります。



HAPPY BIRTHDAY! PETER RABBIT™